

令和4年度 いばらき健康経営優良事業所表彰



「いばらき健康経営推進事業所」として認定された企業・団体の中から、他の模範となる優れた取り組みを実践している事業所を「いばらき健康経営優良事業所」として表彰します。

受賞者には、県民健康づくり表彰式（2月15日）において、茨城県知事から表彰状を授与するとともに、県のホームページ等で事業所名および健康経営の取り組みを紹介することで、健康経営の認知度の向上と、優れた取り組み事例の横展開を図ります。

受賞者と主な取り組み（事業所名五十音順）

◆ 株式会社 関東技研（那珂郡東海村／製造業／従業員数24名）

社員の禁煙を推進するため、非喫煙者も含む全従業員に「皆で禁煙を達成すること」を条件に「健康推進手当」を支給するほか、社員のみならず社員の家族からも禁煙協力の同意書をもらう、社内に禁煙達成者の名前を印字した盾を掲示する、業務時間内に禁煙外来に通うことを認めるなどの取り組みにより、全社一丸となって禁煙を応援する雰囲気醸成された。

結果として、喫煙者全員が禁煙に成功し、以降一人の脱落者も出ずに継続している。

◆ 大栄システム 株式会社（鹿嶋市／情報通信業／従業員数102名）

「あつまれ運動の森」と題した社内健康イベントを実施。従業員が日々行った運動の内容・時間を専用のシートに記録し、EX（エクササイズ）（＝運動強度（METs）×継続時間（h））の高い人を成績優秀者として半年ごとに表彰を行っている。

また、禁煙宣言の制度を設け、宣言者には禁煙サポーターがついて周囲が応援する、禁煙外来の費用を助成するなどにより禁煙を促進している。

社員が積極的に運動や禁煙に取り組んだ結果、定期健康診断結果の有所見率が大きく低下した。

◆ 株式会社 筑波銀行（本部：つくば市／金融業／従業員数1,420名）

定期健康診断の完全実施、二次健康診断受診率の向上、特定保健指導の実施率向上、完全分煙および禁煙の推進など、6つの重点項目とそれぞれに数値目標を掲げ、重点項目の数値目標や取り組みの状況は行内に周知し、毎月、銀行と健康保険組合が情報交換して進捗状況や課題を確認。また、定期的に社内の衛生委員会でも進捗状況等を確認するなど、銀行、健康保険組合、従業員組合等が連携し、社内が一丸となって健康経営を推進している。

結果として、社内において健康に関する意識の向上が図られ、健康に関する各種データも改善した。